

平成25年度 事業報告書

社会福祉法人 幸寿会

特別養護老人ホーム清風苑（長期入所）
特別養護老人ホーム清風苑（短期入所）
深谷市デイサービスセンター清風苑
清風苑在宅介護支援センター
グループホームすずかけ

〒369-1105

埼玉県深谷市本田 4915 番地 1

TEL 048 - 583 - 5555

FAX 048 - 583 - 7257

E-mail seifuuen@cello.ocn.jp

URL <http://www9.ocn.ne.jp/~seifuuen/>

*** 目 次 ***

はじめに・運営の理念・事業方針	2
平成25年度の主な庶務事項	3
特別養護老人ホーム清風苑 (介護老人福祉施設) (介護予防)短期入所生活介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	8
深谷市デイサービスセンター清風苑 (介護予防)通所介護 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	18
清風苑在宅介護支援センター (居宅介護支援事業者) 深谷市在宅介護支援センター清風苑 (在宅介護支援センター) 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 業務報告、利用者状況	24
グループホームすずかけ 総評、業務目標、各会議・委員会報告、研修・会議の参加状況、 研修・実習受け入れ、ボランティア受け入れ、年間行事、業務報告、 利用者状況	29
事務 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	36
給食 総評、業務目標、研修・会議の参加状況	37

はじめに

平成 26 年 2 月の 2 度にわたる大雪はこれまでの予想をはるかに超えるものではありませんでした。結果として職員個人の判断行動のお陰で利用者支援が継続できたことと幸いにも設備面での大きな被害がなかったことでなんとか乗り越えることができました。3 年前の東日本大震災以後に整備した BCP（事業継続計画）メール等が活用されたこともあります。何より職員の利用者に対する思いが今回の一番の評価になりました。その反面として危機予測の甘さに反省し、進行中である BCP 策定に生かしてまいります。

さて、平成 25 年度も人材面では変わらず厳しい状況にあります。事業継続とサービスの質のためには安定した職員状況が不可欠なため、「チームワーク」「接遇」「人事システムの見直し」など進めております。法人の伝統的ある良い考えを基本に、伝統に甘えないような姿勢で臨むため、各事業所にて意識的に行動したり自己評価（ふり返り）シートを作成し活用したりしております。そんな中、徐々にではありますが自主的な変化もみられています。また、副施設長をつくったことでリーダー・サブリーダーが直接的に相談できるよう精神的負担の軽減とあわせ、当法人の今後の将来設計策定に期待をしております。

利用者支援については、各サービス事業所にて食事・入浴・排泄をはじめイベントなどについても利用者の生活向上を安全性・職員負担を考慮して随時見直しを重ねております。

設備面では経過年数によるメンテナンスをしておりますが、中でもデイサービスの器械浴槽が更新（埼玉県共同募金会助成）できたことはここ数年にわたる入浴への不安が解消されました。今後、空調設備更新についてもすすめてまいります。また、グループホームでもバスリフトを整備し困難利用者の安全な浴槽への出入り支援が実現されました。

今後さらに、地域貢献のための事業運営へと舵をきるために、痛みを最小限に抑えながら質と規模の改善と向上をすすめてまいります。

運営の理念

「私たち職員は利用者の尊厳を守り

気づきの姿勢により一人ひとりの望まれる生活を大切にし

地域福祉の向上のため貢献します」

～幸寿会のこころ

- 一、利用者に明るく接し、“安心”される介護をします
- 二、介護と看護の技術を磨き“安全”な生活を守ります
- 三、地域と連携し高齢者福祉の“発展”に努めます
- 四、職員が協力し“信頼”される幸寿会を築きます

事業方針

- 一、人命人権を尊重した業務の研鑽を行う
- 二、日常業務の改善と地域ニーズを考えた事業を展開する
- 三、環境に配慮した業務改善を行なう
- 四、職員教育とチームワークを充実する（言葉、接遇、技術）
- 五、働きやすい職場作りと待遇改善に努める

平成 25 度の主な庶務事項

- 25. 4. 1 辞令交付式
- 4. 1 施設賠償責任保険更新(あいおい損害保険㈱)
- 4. 1 退職手当共済H25年度掛け金納付対象職員提出13名(福祉医療機構)
- 4. 1 浴槽ろ過装置保守管理契約締結(デイ:(有)アクアテック)
- 4. 1 掃除・洗濯請負契約締結(清風苑:深谷市シルバー)
- 4. 1 夜間施設管理請負契約締結(清風苑:寄居町シルバー)
- 4. 1 広報「清風」第11発行
- 4. 1 知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 4. 2 危険物保安監督者選任・解任届提出(深谷消防署本部)
- 4. 2 介護職員処遇改善加算変更届(特養、短期、デイ:北部福祉)
- 4. 2 介護給付費算定に係る体制等に関する届出書(夜勤職員配置加算)(特養:北部福祉)
- 4. 2 介護職員処遇改善加算変更届提出(特養・短期・デイ:県北部福祉事務所)
- 4. 6 すずかけ運営推進会議
- 4.10 特別養護老人ホームの入所希望者に係る調査回答(県高齢介護課)
- 4.16 流し台用水栓交換(清風苑:(有)ヤジマメンテナンス:26,250円)
- 4.30 老人福祉施設指導台帳提出(県監査課)
- 5. 1 社会福祉施設従事者相互保険更新手続(福祉振興・試験センター)
- 5. 1 防火管理者選任・解任届(清風苑:深谷市消防署)
- 5. 1 消防計画作成・変更計画書提出(清風苑:深谷市消防署)
- 5.10 監事会開催
- 5.10 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム㈱)
- 5.12 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ:(㈱ビルワーク)
- 5.16 消防設備等(総合:清風苑)(機能:デイ・すずかけ)定期点検実施(㈱ビルワーク)
- 5.20 軽自動車税減免申請(深谷市:25.6.13 減免決定通知)
- 5.24 デイサービス座位浴槽更新共同募金要望書提出(埼玉県共同募金会)
- 5.17 トイレ換気扇交換(デイ:(㈱)吉田電気工事:28,035円)
- 5.18 第41回評議員会(事業報告、決算報告、定款変更、デイサービス入浴設備更新、
評議員・理事・監事の改選)
- 5.18 第94回理事会事業報告、決算報告、定款変更、デイサービス入浴設備更新、
評議員・理事・監事の改選)
- 5.21 介護職員処遇改善加算変更届(すずかけ:大里広域)
- 5.21 公益法人の収支計算書(平成23年度)の提出書提出(熊谷税務署)
- 5.25 資産の変更登記申請完了(さいたま地方法務局)
- 5.21 自動車税減免申請(埼玉県自動車県税事務所)
- 6. 3 定款変更許可申請書提出(深谷市福祉課:25.6.14認可)
- 6. 4 循環ろ過式一般浴槽保守点検実施(デイ:(有)アクアテック)
- 6. 5 福祉避難所の状況調査回答(深谷市長寿福祉課)
- 6. 6 労働保険概算確定保険料申告書提出(熊谷労基署)
- 6. 7 地下タンクA重油槽定期加圧漏えい検査及び清掃実施(タンクサービス工業)
- 6. 3 社会福祉法人現況報告書、監査報告書提出(深谷市福祉政策課)
- 6.12 脱衣室パネルヒーターバルブ交換、居室エアコン水漏れ修理
(清風苑:(有)ヤジマメンテナンス:80,178円)
- 6.12 埼玉県社会福祉事業共助会総会委任状提出45名(埼玉県社会福祉事業共助会)
- 6.16 自動車保険更新(富士火災海上保険㈱:153,620円)
- 6.17 浴槽水の水质検査(清風苑・デイ:(㈱)熊谷環境分析センター)
- 6.17 登録喀痰吸引等事業者(登録特定行為事業者)変更登録届出書提出
(清風苑:県高齢介護課)
- 6.18 高齢者雇用状況報告書提出(ハローワーク熊谷)

- 6.21 利用者健診（特養・すずかけ：深谷大里郡メヂカルセンター）
- 6.28 浄化槽ばっきプロア分解修繕（清風苑：(株)エコサービス：625,000 円）
- 6.28 浄化槽原水ポンプ交換（清風苑：(株)エコサービス：80,000 円）
- 6.28 総合防災訓練（全事業）深谷市消防本部立合指導
- 6.29 警備機器点検（アルソック）
- 6.29 すずかけ運営推進会議
- 6.29 知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出（大里広域）
- 7. 3 健康保険厚生年金保険被保険者賞与支払届決定通知受理（日本年金機構）
- 7. 5 特定給食施設等栄養管理状況報告書提出（清風苑・デイ：熊谷保健所）
- 7. 8 転倒骨折事故報告書速報提出（すずかけ：大里広域、深谷市）
- 7.11～25 職員定期健康診断
- 7.12 スプリンクラー修繕（清風苑：(株)オキナヤ 13,000 円）
- 7.18 健康保険厚生年金保険被保険者報酬月額算定基礎届決定通知受理（日本年金機構）
- 7.20 第 42 回評議員会（運営状況報告、職員人事、県指導監査報告、報告事項）
- 7.20 第 95 回理事会（運営状況報告、職員人事、県指導監査報告、報告事項）
- 7.20 役職員合同暑気払い会（埼玉グランドホテル深谷）
- 7.20 自家用電気工作物の年次検査実施（日本電気保安サービス協会）
- 7.25 平成 24 年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出
（特養・短期・デイ：県北部福祉事務所）
- 7.25 平成 24 年度介護職員処遇改善加算実績報告書提出（すずかけ：大里広域）
- 7.29 転倒骨折事故報告書提出（すずかけ：大里広域、深谷市）
- 7.29 転倒骨折事故再発防止策報告書提出（すずかけ：大里広域、深谷市）
- 7.30 定期健康診断報告書提出（清風苑入所者：熊谷保健所）
- 7.30 センサーマット更新（すずかけ：(株)ヘルスケア上武：99,435 円）
- 8. 1 広報「清風」第 12 号発行
- 8. 1 デイサービス座位浴槽更新助成要望事業現地調査（埼玉県共同募金会）
- 8. 7 平成 25 年度介護事業実態調査提出（厚生労働省労働局）
- 8.19 平成 25 年度社会福祉法人発展・強化プロジェクト調査回答
（全国社会福祉法人経営者協議会）
- 8.19 転倒骨折事故報告書速報提出（すずかけ：大里広域、深谷市）
- 8.19 介護老人福祉施設等平成 24 年度収支状況等調査提出（全国老人福祉施設協議会）
- 8.20 登録喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者）変更登録届出書提出
（清風苑：県高齢介護課）
- 8.22 食堂排煙装置交換工事（清風苑：(株)久保田工業：154,200 円）
- 8.23 浄化槽ばっきプロア修繕（清風苑：(株)エコサービス：140,000 円）
- 8.26 特別養護老人ホームにおける利用者のプライバシー確保の実態調査回答
（厚生労働省高齢支援課）
- 8.29 厨房流し台用水栓交換（清風苑：(有)ヤジマメンテナンス：27,300 円）
- 8.29 共助会標準報酬基礎届提出（埼玉県社会福祉事業共助会）
- 8.31 給湯暖房用ボイラー定期点検実施（アイム(株)）
- 9. 3 転倒骨折事故報告書提出（すずかけ：大里広域、深谷市）
- 9. 3 転倒骨折事故再発防止策報告書提出（すずかけ：大里広域、深谷市）
- 9. 6 循環ろ過式一般浴槽保守点検実施（デイ：(有)アクアテック）
- 9. 7 すずかけ運営推進会議
- 9. 9 介護保険法に規定する事業所（施設）に係る指定更新申請（デイ：北部福祉）
- 9. 9 認定特定行為業務従事者認定証変更届出書提出（清風苑：県高齢介護課）
- 9.10 介護職員給与等実態調査回答（県高齢介護課）
- 9.11 共助会標準報酬基礎届提出（埼玉県社会福祉事業共助会）
- 9.11 トイレ換気扇交換（支援：(株)久保田工業：26,700 円）
- 9.13 サッシ廻りコーキング（支援：(株)久保田工業：50,000 円）

- 9.16 入所者への口腔ケアに関する調査回答(県高齢介護課)
- 9.17 平成 25 年度埼玉県就労実態調査回答(県産業労働部)
- 9.20 平成 26 年経済センサス基礎調査及び平成 26 年商業統計調査「企業構造の事前把握」
確認票回答(総務省・経済産業省)
- 9.20 建物火災保険更新(すずかけ：埼玉北部農業共済組合 81,600 円)
- 9.26 センサーマット増設(清風苑：(株)ヘルスケア上武：55,440 円)
- 9.26 転倒骨折事故報告書速報提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 9.27 デイサービス座位浴槽更新共同募金配分決定通知(埼玉県共同募金会)
- 9.31 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム(株))
- 10. 1 介護予防支援業務委託契約締結(支援：熊谷福祉会)
- 10. 5 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 10. 2 フードプロセッサ更新(デイ：(株)ホシザキ：73,290 円)
- 10. 8 新会計基準財務会計ソフトセットアップ
(法人：(株)CIJ ソリューションズ：136,500 円)
- 10. 9 介護保険法に規定する事業所(施設)に係る指定更新申請(支援：北部福祉)
- 10.15 厨房機器(フードスライサー、スチームオープン、食器消毒保管庫)修理
(清風苑・デイ：(株)ホシザキ：58,000 円)
- 10.17 平成 25 年介護サービス施設・事業所調査回答(すずかけ：厚労省)
- 10.17 平成 25 年介護サービス施設・事業所調査回答(デイ：厚労省)
- 10.17 平成 25 年介護サービス施設・事業所調査回答(特養、短期、支援：厚労省)
- 10.17 平成 25 年介護老人福祉施設票回答(特養：厚労省)
- 10.18 介護保険指定変更届提出(支援：ケアマネ変更：北部福祉)
- 10.21 介護サービス事業所における医療職のあり方に関する調査提出
(厚生労働省老人保健課)
- 10.21 食器更新(デイ：(株)東海興商：120,708 円)
- 10.22 認定特定行為業務従事者認定証(経過措置)変更届書提出
(清風苑 4 名：県高齢介護課)
- 10.22 転倒骨折事故報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 10.22 転倒骨折事故再発防止策報告書提出(すずかけ：大里広域、深谷市)
- 10.25 介護保険法に規定する事業所(施設)に係る指定更新完了通知(デイ：北部福祉)
- 10.26 第 43 回評議員会(デイサービス座位浴槽更新(事業進行のスケジュール、
事業費用、指名競争入札の業者選定))
- 10.26 第 96 回理事会(デイサービス座位浴槽更新(事業進行のスケジュール、事業費用、
指名競争入札の業者選定))
- 10.27 事業所における介護労働実態調査提出(厚生労働省)
- 10.29 エアコン室内機漏水修理工事(清風苑：(有)ヤジマメンテナンス：84,000 円)
- 11. 2 すずかけ運営推進会議
- 11. 5 認定特定行為業務従事者認定証変更届出書提出(清風苑：県高齢介護課)
- 11. 6 消防設備等(総合：デイ・すずかけ)(機能：清風苑)定期点検実施：(株)ビルワーク)
- 11. 6 浄化槽定期清掃実施(小嶋衛生社)
- 11.21 第 44 回評議員会(デイサービス座位浴槽更新(指名競争入札の結果、
落札業者との契約締結))
- 11.21 第 97 回理事会(デイサービス座位浴槽更新(指名競争入札の結果、
落札業者との契約締結))
- 11.21 特別養護老人ホーム等の施設及び配置医師の状況等について回答(県国保健医療部)
- 11.21 介護保険法に規定する事業所(施設)に係る指定更新申請(特養、短期：北部福祉)
- 11.23 予防サービスの提供に関する実態調査回答(厚生労働省)
- 11.23 介護サービスの情報の公表報告(特養、短期、デイ、居宅介護支援、
認知症対応型共同生活介護)
- 11.24 厨房他の害虫駆除実施(清風苑・デイ・すずかけ：(株)ビルワーク)

- 11.26 登録喫煙吸引等事業者（登録特定行為事業者）変更登録届出書提出
(清風苑：県高齢介護課)
- 11.27 職員定期健康診断(深谷大里郡メヂカルセンター)
- 12. 1 広報「清風」第 13 号発行
- 12. 1 受水槽定期清掃(清風苑・㈱ビルワーク)
- 12. 4 介護保険法に規定する事業所(施設)に係る指定更新完了通知(支援：北部福祉)
- 12. 7 社会福祉法人許可等事務の一般市への権限移譲に係る調査回答(県高齢介護課)
- 12. 7 介護保険指定変更届提出(デイ：運営規程変更：支援：管理者変更：北部福祉)
- 12. 9 施設職員の勤務年数等に関する調査回答(特養、すずかけ：県高齢介護課)
- 12.11 介護職員等喫煙吸引等制度の実施状況に関する調査回答(特養：厚生労働省)
- 12.13 介護サービス事業者に対する実地指導(支援：県福祉監査課)
- 12.14 給湯暖房用ボイラー定期点検実施(アイム㈱)
- 12.15 座位浴槽設備更新工事(デイ：ヘルスケア上武：6,300,000 円)
- 12.16 健康保険厚生年金被保険者賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 12.16 循環ろ過式一般浴槽保守点検実施(デイ：㈲アクアテック)
- 12.14 職員忘年会(栄寿司)
- 12.14 すずかけ運営推進会議
- 12.16 通所介護事業所における宿泊サービスの実態調査回答(県高齢介護課)
- 12.16 転倒骨折事故報告書速報提出(清風苑：北部福祉事務所、深谷市)
- 12.16 浴槽水の水质検査(デイ：㈱熊谷環境分析センター)
- 12.16 中小企業労働環境向上助成金導入・運用計画書提出(すずかけ：熊谷公共職業安定所)
- 12.21 防災訓練(全事業合同：夜間地震想定通報訓練)
- 12.22 受水槽定期清掃(デイ：㈱ビルワーク)
- 12.24 ガスダブル交換(デイ：㈱トータルサポート：110,000 円)
- 12.25 健康保険厚生年金被保険者賞与支払届決定通知受理(日本年金機構)
- 12.26 在宅医療連携ガイドアンケート調査回答(県保健医療部)
- 12.26 転倒骨折事故報告書提出(清風苑：北部福祉事務所、深谷市)
- 12.26 転倒骨折事故再発防止策報告書提出(清風苑：北部福祉事務所、深谷市)
- 26. 1. 1 介護予防支援業務委託契約締結(支援：深谷市社会福祉協議会)
- 1. 1 認知症対応型共同生活介護事業所利用状況調査書提出(大里広域)
- 1. 7 浄化槽法定検査実施(埼玉県浄化槽協会)
- 1.16 中小企業労働環境向上助成金導入・運用計画認定通知
(すずかけ：熊谷公共職業安定所)
- 1.16 給与支払報告書提出 80 名(15 市町村提出)
- 1.16 源泉徴収票提出 9 名(熊谷税務署)
- 1.19 浴室手摺取付工事(清風苑：㈱久保田工業：136,500 円)
- 1.20 運営規程変更届出書(支援：北部福祉)
- 1.24 経営診断・指導申込(特養：独立行政法人福祉医療機構)
- 1.24 介護サービス事業者に対する実地指導改善結果報告書提出(支援：県福祉監査課)
- 1.30 食堂サッシュダイヤル錠クレセント交換工事(清風苑：㈱久保田工業：26,600 円)
- 1.30 転倒骨折事故報告書速報提出(デイ：北部福祉事務所、深谷市)
- 2. 1 清風苑食器洗浄機保守契約締結(ホシザキ北関東㈱：56,700 円)
- 2. 2 認定特定行為業務従事者認定証変更届出書提出(清風苑：県高齢介護課)
- 2. 3 洗面水栓交換(すずかけ：㈱久保田工業：105,000 円)
- 2. 4 定期健康診断報告書提出(法人全体：熊谷保健所)
- 2. 5 平成 26 年度介護職員処遇改善加算届出書(特養、短期、デイ、支援：北部福祉)
- 2. 5 平成 26 年度介護職員処遇改善加算届出書(すずかけ：大里広域)
- 2.12 社会福祉施設指導監査(書面監査)書類提出(県福祉監査課)
- 2.13 ボイラーバーナー交換(清風苑：アイム㈱：85,000 円)
- 2.14 簡易専用水道管理検査実施(埼玉県環境検査研究協会)

- 2.25 登録喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者）変更登録届出書提出
（清風苑：県高齢介護課）
- 2.25 H26GND 基金事業に関する調査(深谷市長寿福祉課)
- 2.28 パソコン更新等(清風苑：大塚商会：323,000 円)
- 3. 1 すずかけ運営推進会議
- 3. 1 防災訓練（すずかけ）
- 3. 3 建物火災地震保険更新（清風苑：あいおい損害保険株）：208,130 円）
- 3. 4 介護保険法に規定する事業所（施設）に係る指定更新完了通知
（特養、短期：北部福祉）
- 3. 8 循環ろ過式一般浴槽保守点検実施（デイ：(有)アクアテック）
- 3.17 フードプロセッサ更新(清風苑：株トータルサポート：78,000 円)
- 3.18 給湯暖房用ボイラー定期点検実施（アイム株）
- 3.22 第 45 回評議員会
（補正予算、事業計画、予算、規程の変更、高額取引業者の選定、報告事項）
- 3.23 第 98 回理事会
（補正予算、事業計画、予算、規程の変更、高額取引業者の選定、報告事項）
- 3.25 フェンス柱交換工事(デイ利用者宅株)久保田工業：23,000 円)
- 3.26 就業規則変更届(給与規程)（熊谷労基署 26.4.1 変更）
- 3.26 3 6 協定届（熊谷労基署）

特別養護老人ホーム清風苑
(介護老人福祉施設)
((介護予防)短期入所生活介護)

1. 総評

「身体ケア」から「身体ケア+認知症ケア」への変換のため、「接遇」に重点を置き、取り組んできました。従来、特養の性質から「身体ケア」に重点を置いた生活支援を行ってきたため、「認知症ケア」についての知識はあるものの、会議での話し合いだけでは浸透しにくい状況がありました。また、職員の入退職も重なり、業務指導の需要が増えたことから、取り組みが薄れてしまった雰囲気がありました。そこで「サービス向上委員会」を中心に、接遇について会議等だけでなく、具体的な目標を立て、日頃意識できるよう取り組んだところ、下半期に入り、徐々に変化が見られるようになって来ました。認知症高齢者を理解・受容し、声掛けや見守りを通して、清風苑で暮らす利用者が、その人らしくあり続けるために、平成26年度、業務改善委員会に職員育成分野として接遇を引き継ぎ、「認知症ケア」の充実を目指します。

2. 業務目標・各会議・委員会報告

【チームワークで気づきの支援】

ケース担当の充実・・・「気づき」の姿勢で寄り添った支援を行ないます。
介護・看護・相談の情報共有・・・連携を強化し、より統一された体制作りにも努めます。
・ケース担当の引継ぎの際、対応の詳細に加え、利用者の性格や、入所当時の様子等分かっていることを全て伝え、「その人を知る」引継ぎを行ないました。
・各職種の状況も様々ありましたが、「利用者にとって」という思いで、日頃のやり取りをしてきました。体制作りとしては、進展していると感じています。

【事故防止委員会】

事故防止・・・ヒヤリハット作成の促しと事故分析をもとに、集中した声掛けを行なうことで、職員の事故防止への意識を維持し、月あたり二桁から一桁に事故件数を減らす事ができました。

身体拘束廃止・・・「身体拘束ゼロ」を目標に時間帯や方法を検討し、一時的ではありますが、ゼロの時間帯をつくることができました。また、全体数も6件 4件に減らすことができました。

【余暇委員会】

レクカレンダーを導入し、あらかじめ内容を決めておくことで、実施率を高め、内容の偏りをなくすことができました。

【環境委員会】

各職員に担当エリアを分担して、環境整備を心掛けるよう促すこと、車椅子をきれいな状態で使用してもらうために業務の隙間に掃除を行うよう取り組みました。

【サービス向上委員会】

接遇・・・「気持ちの良い挨拶・事前の声掛け」の徹底に重点をおき取り組みました。言葉遣いの改善が見られています。

新人育成・・・業務習得状況を把握し、必要に応じて補習を行いました。

【広報委員会】

広報誌の定期発行(清風苑ニュース：毎月)(清風：年3回)を継続し、施設活動や生活の様子を紹介しました。

【業務改善委員会】

職員の入退職に伴い、介護力維持のため、日々忙しい状況であるからこそ、日常の中での指導・促しが重要である事を共通理解として意識するよう進めてきました。業務として指導していること以外の事の方が多く、肝心であることも併せて発信しています。以前に比べて、声を掛け合う機会が増えてきています。

【ショートステイ】

在宅生活に配慮したケアプランを作成し、アセスメントシートの活用で支援が統一されるよう努めました。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者））

- 25. 4.26 事故等緊急時対応研修（施設内研修：参加者13名）
 - 5.14 短期集団指導（県福祉監査課： ）
 - 5.24 特養集団指導（県福祉監査課： ）
 - 6. 3 他施設訪問「あきやま苑」（幸寿会： 、 、 ）
 - 6. 6 他施設訪問「ふじさわ苑」（幸寿会： 、 、 ）
 - 6.13 公開講座「施設でできるリハビリ」（小川赤十字病院： 、 、 、 、 、 ）
 - 6.28 食中毒予防研修（施設内研修：参加者16名）
 - 6.28 感染症基礎研修（県社協： ）
 - 7. 1 介護専門支援員研修会（県老施協： 、 ）
 - 7. 4 介護職員研修会（老施協： ）
 - 7.8、7.9 社会福祉施設指導的職員研修（県社協： ）
 - 7.19 福祉サービス苦情解決セミナー（県社協： ）
 - 7.24、7.25 社会福祉施設指導的職員研修（県社協： ）
 - 7.26 身体拘束廃止の研修（施設内研修：参加者16名）
 - 7.26、8.2 社会福祉援助技術研修（県社協： ）
 - 8.27、10.1、11.1 事業継続計画（BCP）作成研修会（県経協： ）
 - 8.27 看護職員研修（県老施協： ）
 - 8.30 認知症介護基礎研修（県社協： ）
 - 9.26 公開講座「認知症について」（小川赤十字病院： 、 、 ）
 - 9.26、10.2 接遇推進者養成研修（県社協： ）
 - 9.27 事故防止研修（施設内研修：参加者12名）
 - 10.11 感染症研修会（熊谷保健所： ）
 - 10.25 ノロウイルス等感染症研修（施設内研修：参加者13名）
 - 10.31 相談員研修会（県老施協： ）
 - 11.21 公開講座「感染症対策における認識の違い」（小川赤十字病院： 、 、 、 、 ）
 - 11.22 褥瘡予防対策研修（施設内研修：参加者14名）
 - 11.29 介護専門支援員研修会（県老施協： ）
 - 12. 3 危機管理に関する研修（県社協： ）
 - 12.27 インフルエンザ等感染症研修（施設内研修：参加者13名）
- 26. 2.12 高齢者虐待セミナー（県高齢介護課： ）
- 2.26 相談員研修会（老施協： ）
- 2.28 高齢者虐待防止研修（施設内研修：参加者14名）
- 3.14 熊谷保健所管内給食施設研修（熊谷保健所： ）
- 3.28 ターミナルケア研修（施設内研修：参加者17名）

4. 研修・実習受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
平成25年5月15～16日	高崎福祉カレッジ	1	2
5月29日	川本南小学校町探検	41	41
7月4～20日	かな福祉専門学校	1	8
7月31～8月2日	川本中学校社会体験チャレンジ	4	11
8月2～6日	彩の国ボランティア	2	3
8月5～9日	介護体験(大学生)	1	1
9月20日	川本中学校総合学習施設訪問	2	2
10月7～11日	介護体験(大学生)	1	3
平成26年2月5～3月9日	かな福祉専門学校	1	17
合計		54	88

5. ボランティア受入

月	団体		個人		合計		活動団体 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	0	0	1	3	1	3	【深谷市】 川本南保育園 住山理容所 いなほ会 コーラスさくらそう いきいきサロン
5	2	32	1	3	3	35	
6	0	0	1	3	1	3	
7	0	0	1	3	1	3	
8	0	0	1	3	1	3	
9	1	12	1	3	2	15	
10	0	0	1	3	1	3	
11	0	0	1	3	1	3	
12	0	0	1	3	1	3	
1	0	0	1	3	1	3	
2	0	0	1	3	1	3	
3	0	0	2	5	2	5	
計	3	44	13	38	16	82	

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	お花見会(50) いちご狩り(6)
5	南保育園交流会(30) 農林公園外出(6)
6	
7	七夕会(50) 出前行事(6)
8	深谷市花火大会観覧(4) 清風苑花火大会・夏祭り(46・50)
9	長寿をお祝いする会(47) 出前行事(6)
10	まんじゅう作り(49)
11	やきいも会(42) 福祉の市(0)
12	クリスマス会(50) 忘年会・餅つき会(50)
1	新年会(38) 書初め(15) 初詣(6)
2	節分(豆まき)(40)
3	ひな祭り(45)
毎月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 余暇委員会 環境委員会 サービス向上委員会
5	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 余暇委員会 環境委員会 サービス向上委員会 ケース会議
6	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 総合防災訓練(地域・地震・避難・消火)
7	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 ケース会議
8	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 余暇委員会 環境委員会
9	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 ケース会議
10	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会
11	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 ケース会議
12	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 夜間通報訓練
1	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 ケース会議 余暇委員会 環境委員会
2	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 余暇委員会 環境委員会
3	特養会議 特養運営会議 業務改善会議 事故防止委員会 安全対策会議(喀痰吸引) 給食会議 入所検討委員会 広報委員会 サービス向上委員会 ケース会議 余暇委員会 環境委員会

8 . 利用者状況

(1) 利用者定員及び現在員状況 () は再掲：緊急措置入居

定員 50 名 現在員 50 名 (男性 14 名 女性 36 名)

(2) 利用者年齢別状況 () は再掲：緊急措置入居

年齢	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	95 ~ 99	100 ~ 104	計
男性	1	0	1	1	6	0	2	2	1	14
女性	0	1	2	2	1	15	10	5	0	36
計	1	1	3	3	7	15	12	7	1	50

* 最高年齢 男性 101 歳 3 ヶ月 女性 97 歳 4 ヶ月

* 最若年齢 男性 64 歳 3 ヶ月 女性 67 歳 0 ヶ月

* 平均年齢 男性 84 歳 4 ヶ月 女性 87 歳 6 ヶ月 総平均 86 歳 7 ヶ月

(3) 利用期間 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

利用期間	男	女	計	利用期間	男	女	計
6 ヶ月未満	1	4	5	9 年 ~ 10 年未満	0	1	1
6 ヶ月 ~ 1 年未満	2	1	3	10 年 ~ 11 年未満	0	0	0
1 年 ~ 2 年未満	3	10	13	11 年 ~ 12 年未満	0	1	1
2 年 ~ 3 年未満	2	4	6	12 年 ~ 13 年未満	0	1	1
3 年 ~ 4 年未満	2	2	4	13 年 ~ 15 年未満	1	0	1
4 年 ~ 5 年未満	1	5	6	15 年 ~ 16 年未満	1	0	1
5 年 ~ 6 年未満	0	3	3	16 年 ~ 19 年未満	0	0	0
6 年 ~ 7 年未満	1	2	3	19 年 ~ 20 年未満	0	1	1
7 年 ~ 8 年未満	0	1	1				
8 年 ~ 9 年未満	0	0	0	合 計	14	36	50

最短利用期間 0 ヶ月間

最長利用期間 19 年 0 ヶ月間

平均利用期間 4 年 1 ヶ月間

(4) 要介護度 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

* 平均介護度 4.5

要介護区分	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男 性	0	1	3	1	9	14
女 性	0	1	4	6	25	36
計	0	2	7	7	34	50

(5) 入所申込状況(入所検討委員会) ()は見直し

	A	B	C	D	計
平成25年5月	2(1)	1(0)	0	0	3(1)
8月	1(0)	5(2)	1(1)	0	7(3)
9月	1(1)	1(1)	2(0)	0	4(2)
10月	0	2(0)	0	0	2(0)
11月	1(2)	0	2(0)	0	3(2)
12月	3(0)	1(0)	1(1)	0	5(1)
平成26年1月	1(0)	0	1(0)	0	2(0)
2月	0	1(0)	0	0	1(0)
3月	0(0)	2(0)	1(0)	0	3(0)
合計	9(4)	13(3)	8(2)	0(0)	30(9)
26年4月1日待機者	16	24	19	1	60

(6) 月別利用者状況 ()は再掲：緊急措置入居 年間利用率99.2%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分別 月初日利用者数 (在籍)A	50	49	50	50	50	50	49	50	50	49	49	49	
月中新利用者数B	0	2	0	0	1	3	1	0	0	1	2	1	11
月中退所者数C	1	1	0	0	1	2	0	0	1	1	2	0	9
月中入院者数D	1	1	1	0	2	3	0	0	1	3	1	1	
月末入院者数E	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	49	50	50	50	50	49	50	50	49	49	49	50	
延べ利用者数	1,480	1,536	1,500	1,550	1,543	1,465	1,547	1,500	1,539	1,521	1,365	1,550	18,096

(7) 市町村別入退所者状況 ()は再掲：緊急措置入居 (平成26年4月1日現在)

市町村	平成26年 4月1日現在			平成25年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
深谷市	5	10	15	152	8	7	(入) 5/9、5/25 8/18、9/21 9/28、1/17 2/15、3/1 (退) 4/10、5/18 8/10、9/11 9/14、12/20 2/8 (院) 6/7-6/25、8/16 8/20-9/20、 9/5-9/26 1/16-1/30、 1/28-3/3
熊谷市	1	1	2	39	0	1	(退) 2/11 (院) 4/1-5/9
寄居町	0	1	1	0	1	0	(入) 2/13
小川町	0	1	1	38	1	1	(入) 9/25 (退) 1/18 (院) 12/12
さいたま市	0	1	1	0	1	0	(入) 10/14
計	6	14	20	229	11	9	

(8) 利用者の身体状況 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

日常生活動作等

介助項目区分	自立	一部	全介	利用者状況						
移動介助	13	9	28	使用機種	車イス 30 名、リクライニング 14 名、歩行器 1 名					
食事介助	18	7	25	食事場所	食堂 42 名、居室 8 名(内、経管者 8 名)					
排泄介助	7	13	30	おむつ使用者数	人数	定時	随時			
				常時の者	38	4 回	8 回以上			
				夜間のみ者	4	2 回	4 回以上			
入浴介助	9	6	35	使用浴槽	一般浴 6 名・器械浴 40 名・リフト浴 4 名					
着替介助	9	11	30	毎日着替	要介助 0 名、自力 0 名					
体位交換介助	14	2	29	介助者の状況	人数	定時	随時			
				褥瘡者	0	13 回	13 回以上			
				その他	31	13 回				
障害老人の日常生活自立度	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	
	0	0	0	4	6	4	25	3	8	

精神状況等

精神項目区分	人数	原因疾患・認知度数								
意思疎通不能者数	15	原因疾患	機能的障害 12 名、精神的障害 38 名							
認知性老人者数	50	認知症度数	重度 40 名、中度 9 名、軽度 1 名							
認知症老人の日常生活自立度	自立		a	b	a	b		M		
	0	1	2	7	12	19	9	0		

(9) 医務処置状況 * () 以外は日平均件数

処置項目	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
再検温	4.8	6.7	7.8	5.5	6.5	6.9	7.0	7.8	6.6	4.3	5.0	3.0	6.0
常時外下剤投与	9.4	10.4	9.0	8.6	9.4	9.1	8.8	8.9	8.2	8.3	9.7	8.4	9.0
皮下注射(月延)	3.1	2.0	2.0	2.2	2.0	1.0	1.0	2.7	0.8	0.03	0.4	1.1	1.5
点滴(月延)	0.06	0.03	0	0	0	0.03	0.1	0	0.03	0.2	0	0.09	0.05
浣腸(月延)	2.7	2.4	2.8	3.0	2.7	2.6	2.8	3.5	2.5	2.6	2.4	2.2	2.7
酸素吸入(月延)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚疾患軟膏塗布	17	16	17	16	17	14	20	23	21	16	17	20	17.8
湿布	0.3	0.8	0.3	0.5	0.7	0.03	0.03	0.1	0.5	0.06	0	0.2	0.3
常時外投薬	4.7	5.2	4.0	4.6	6.5	6.7	5.6	5.8	6.3	7.0	6.8	6.0	5.8
点眼	7.3	7.7	6.1	7.3	7.5	5.3	1.3	1.1	1.1	1.5	2.1	2.2	4.2
座薬使用(月延)	0	0	0	0	0.09	0	0.06	0.2	0.7	0.06	0.1	0.2	0.1
外科的処置	4.5	4.9	5.8	5.3	5.8	5.2	4.1	4.4	5.5	4.5	4.9	5.4	5.0
常時投薬	50	52	52	46	48	50	50	50	49	49	49	49	49.5

(10) 常食給与栄養摂取量 (1人平均)

種 目	エネルギー kcal	蛋白質 g	脂肪 g	カルシウム mg	鉄 mg	レチノール ug	ビタミン B1 mg	ビタミン B2 mg	ビタミン C mg	塩分 g
1日必要 摂取量	1,460	54.6	35.9	502	5	452	0.8	1.01	85	9
4月	1,458	54.6	35.9	588	9.8	521	1.24	0.99	94	8.9
5月	1,460	55.0	37.4	551	9.6	518	1.14	0.94	77	8.9
6月	1,464	55.1	36.3	586	9.9	509	1.25	0.98	90	8.8
7月	1,462	56.0	36.7	595	10.1	565	1.32	1.06	88	9.0
8月	1,461	54.9	38.5	589	10.0	511	1.28	1.00	85	9.0
9月	1,465	55.5	36.5	590	10.2	531	1.25	1.01	87	9.0
10月	1,463	55.7	36.7	595	10.1	521	1.21	0.97	82	9.0
11月	1,469	53.9	37.5	594	9.9	518	1.27	0.97	78	9.0
12月	1,469	54.9	37.5	603	10.3	529	1.25	0.99	88	9.0
1月	1,466	55.7	37.0	593	10.1	529	1.24	0.95	82	9.0
2月	1,451	54.4	37.1	487	8.5	565	1.01	0.85	79	8.7
3月	1,470	57.8	36.6	400	7.2	564	0.80	0.78	87	8.7
平 均	1,463	55.3	37.0	564	9.6	532	1.19	0.96	85	8.9

(11) 短期入所生活介護事業実績 : () は予防介護の再掲 * 1日平均利用率 7.5人

区	深谷市		小川町 嵐山町		寄居町		熊谷市 大宮市		合 計	
	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数	延人数	延日数
4	14	102	4	39	1	2	2	39	21	182
5	17	164	3	5	2	19	2	47	24	235
6	15	118	1	4	3	19	2	41	21	182
7	14	163	1	4	1	4	2	20	18	191
8	17	205	2	35	2	8			21	248
9	16	198	2	28	3	29	1	2	22	257
10	17	194	1	4	3	30	2	5	23	233
11	15	187	2	6	4	33			21	226
12	18	220	1	4	2	27	1	2	22	253
1	16	237	1	5	3	28	1	7	21	277
2	15	188	1	4	2	26			18	218
3	13	202	1	8	3	31			17	241
計	187	2,178	20	146	29	256	13	163	249	2,743

深谷市デイサービスセンター清風苑 ((介護予防)通所介護)

1. 総評

平成 25 年度は平成 24 年度と比べ、利用率の落ち込みが顕著に見られました。利用者の入所や死亡など理由は様々ですが、最大の要因として考えられるのは、既存利用者の追加利用が少なかったことが原因として考えられます。新規や体験利用などの希望は例年と比べて大きな変化は無かったのですが、そこからの利用の定着までにはいかなかった印象も受けます。

その為 2 月より提供実績の配布を F A X から実際に他居宅介護支援事業所に訪問し、法人内介護支援事業所に協力を要請しながら、空き情報や広報誌の配布をして、自事業所のアピールを行ってまいりました。

平成 26 年 4 月現在では 1 日平均 25 名以上の利用者の確保が出来つつあります。昨年度の反省を生かし、この状態を維持またはさらに向上させていけるようサービス内容と合わせて利用者ニーズを満たす取り組みや特色のあるデイサービスを目指していききたいと思います。

2. 業務目標、各会議・各委員会報告

(1) 業務目標報告

平成 25 年度の業務目標は『個別援助の充実を図り、利用者満足を満たす』に設定をしました。個別援助の充実に関してはケース会議を通して、その利用者がどういった目的でデイサービスの利用に至ったのか、またその利用者のニーズを把握する作業を行ってまいりました。その結果職員全体で情報の共有や対応方法などの統一ができ、個別援助の充実に関しては、一定の評価が得られたと思います。また個別のニーズを把握できれば、自ずと利用者満足に繋がると考え、利用者の日課に関してモクラブ活動をさらに強化し、日々のレクリエーションや機能訓練なども充実させていきたいと思っています。

(2) 各会議報告(デイサービス会議・ケース会議)

デイサービス会議においては、通所介護計画書の確認や安全対策面、業務内容や利用者日課の見直しを毎月議題として挙げ、問題点の抽出や環境整備を進めてまいりました。

ケース会議においては、上記の業務目標に大きく関わってくる会議であり、個別援助の充実を図るためには重要な会議でした。介護保険の更新や新規などの対象者を挙げ、計画書を全員に配布し、計画書の熟読作業や内容の把握、日中の様子などを話し合い対応方法や通所介護計画書の内容をさらに充実させることができました。

二つの会議を通して掲げた業務目標に取り組み、良かった点としては個々の利用者のニーズの把握や計画書の内容が職員全体で認識できたこと、課題としては利用者が満足できるサービスができたかという点です。この点に関しては、満足度調査を実施することができず利用者の本音の部分の声が聞けなかったことが反省すべき点です。今年度は満足度調査をし、接遇などの取り組みに生かしたいと思っています。良かった点に関しては今後も長所として伸ばしていき、課題に関しては会議や委員会などで議題としてあげ、デイサービススタッフが共通の認識と課題に対して取り組んでいきたいと思っています。

(3) 各委員会報告

平成 25 年度は委員会を設けず、デイサービス会議内でスタッフ全員で協議しました。事故報告書やヒヤリハット報告書を基にどうして起こってしまったのか、職員の対応や環境に問題はなかったかなど再発防止策や環境整備を全員で考察しました。

業務や利用者状況についてはデイサービス会議前に事前に全スタッフから問題点を箇条書きで抽出し、挙げた業務の問題点や利用者対応を全員で協議し、利用者主導のサービスを目指していきました。

平成 26 年度からは職員配置も整ってきたこともあり、各委員会を設け、より専門的な視点と研修や事例検討なども交え、安全対策については事故予防・ヒヤリハット活用に重点を置き、新たな試みとして、接遇検討委員会を立ち上げ、原点に戻り接遇の部分を強化し、利用

者本人やその家族との連携や社会人としての当たり前の言動や電話対応などを、委員会を通してデイサービス全体で「接遇とは何か」というのを考え、取り組んでいきたいと思ひます。

3. 研修・会議の参加状況（参加日・研修会議名（主催：参加者）

- 25. 5.23 平成 25 年度集団指導（県福祉監査課： ）
- 6.19 入浴施設におけるレジオネラ対策講習会（本庄・熊谷保健所： ）
- 7.19 福祉サービス苦情解決セミナー（県社協： ）
- 7.26 デイサービス部会研修（県老施協： ）
- 8.27 看護職員研修会「拘縮予防」（県老施協： ）
- 8.30 認知症基礎研修（県社協： ）
- 10. 8 多職種チームケア研修会（県老施協： ）
- 26. 3.24 他施設体験「えがおの里」（幸寿会： ）
- 3.25 他施設体験「だんらん上柴」（幸寿会： ）
- 3.31 他施設体験「おぶすまの里」（幸寿会： ）

4. 研修・実習受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
7月 4～20日	かな福祉専門学校	1	2
7月 31～8月 2日	川本中学校社会体験チャレンジ	1	1
8月 2～6日	彩の国ボランティア	1	1
8月 5～9日	介護体験（大学生）	1	4
9月 20日	川本中学校総合学習施設訪問	2	2
10月 7～11日	介護体験（大学生）	1	2
平成 26 年 2 月 5～3 月 9 日	かな福祉専門学校	1	4
合計		8	16

5. ボランティア受入

月	団体		個人		合計		活動団体 敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数	
4	1	4	0	0	1	4	【団体】 よりの彩の会 朗読クラブひまわり 大正琴愛好会 南民謡レククラブ ひふみ会 バイオリンと歌の会 川本南保育園 川本南小学校 川本中学校
5	1	4	0	0	1	4	
6	1	3	0	0	1	3	
7	1	3	0	0	1	3	
8	1	4	0	0	1	4	
9	6	33	1	8	7	41	
10	1	4	0	0	1	4	
11	1	4	0	0	1	4	
12	1	3	0	0	1	3	
1	1	3	0	0	1	3	
2	1	3	0	0	1	3	
3	1	4	0	0	1	4	
計	17	72	1	8	18	80	【個人】 尺八 様ご夫妻 弾き語り

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	朗読クラブ お花見外出 いちご狩り外出(16)
5	朗読クラブ いちご狩り外出(22)
6	朗読クラブ
7	朗読クラブ 夏季限定ドリンクバー スイカ割り
8	朗読クラブ ドリンクバー 流しそうめん ぶどう狩り外出(9)
9	朗読クラブ ぶどう狩り外出(5) 敬老会 6日間 9/16～9/21 バイオリンと歌の会 花園大正琴愛好会 ひふみ会・尺八演奏 南民謡レククラブ 寄居彩の会
10	はま寿司、フォレスト外出(27) 朗読クラブ
11	朗読クラブ
12	忘年会 5日間 12/24～12/28 朗読クラブ
1	書初め 1/4～1/10 朗読クラブ
2	バレンタインチョコ作り 節分豆まき 朗読クラブ
3	朗読クラブ
毎月	

7. 業務報告

月	内 容
4	クラブ活動導入・開始 処置利用者確認作業
5	クラブ活動内容・実施期間検討 処置利用者確認作業
6	利用者日課検討 処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討 総合防災訓練（地域・地震・避難・消火）
7	次月クラブ活動内容検討 処置利用者確認作業
8	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討
9	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討
10	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討 上半期総括
11	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討
12	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討 夜間通報訓練
1	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討
2	居宅介護支援事業所訪問作業開始 処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討
3	処置利用者確認作業 次月クラブ活動内容検討

8 . 利用者状況

平成 25 年度に関する以外は、平成 26 年 4 月 1 日現在にて表示

(1) 利用者数

登録者 76 名 (男性 14 名、女性 62 名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	~ 59	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100 ~	計
男性	0	1	0	0	2	3	4	4	0	0	14
女性	0	0	0	1	5	16	24	13	2	1	62
計	0	1	0	1	7	19	28	17	2	1	76

(3) 要介護度

平均支援度 1.4 平均介護度 2.2

区分	自立	支援	支援	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	1	1	2	3	0	3	1	11
女性	0	4	3	18	12	11	3	2	53
計	0	5	4	20	15	11	6	3	64

(4) 利用事由 (重複あり)

	男性	女性	計
日中独居	8	29	37
家庭での入浴困難	9	37	46
独り暮らし	0	6	6
他者との交流	7	28	35
介護者の負担軽減	5	19	24
心身の機能維持	6	31	37
認知症の進行予防	2	26	28
計	37	176	213

(5) サービス開始・終了者

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開始	2	1	4	2	1	2	1	1	4	2	5	3	28
終了	0	3	2	0	5	1	3	2	0	6	0	1	23

(6) 月間利用実績

(前期) 4月～9月

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
登録者数	77	79	71	72	74	70	-
延利用者数	637	634	599	639	608	534	3,651
(予 防)	89	84	69	90	77	84	493
(介 護)	548	550	530	549	531	450	3,158
運営日数	26	27	25	27	27	25	157
1日平均利用者数	24.5	23.5	24.0	23.7	22.5	21.4	-
昼食提供数	626	621	591	626	586	519	3,569
送迎回数	1,250	1,248	1,187	1,254	1,194	1,043	7,176
一般浴回数	474	487	466	487	470	411	2,795
機械浴回数	95	84	78	91	84	69	501

(後期) 10月～3月

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
登録者数	72	69	71	72	70	73	-
延利用者数	632	571	533	510	479	595	6,971
(予 防)	101	91	79	60	61	65	950
(介 護)	531	480	454	450	418	530	6,021
運営日数	27	26	24	24	22	26	306
1日平均利用者数	23.4	22.0	22.2	21.2	21.7	22.9	22.7
昼食提供数	586	559	521	500	471	583	6,789
送迎回数	1,240	1,116	1,040	994	932	1,164	13,662
一般浴回数	501	438	425	413	406	515	5,493
機械浴回数	76	78	56	53	44	45	853

(7) 地域別登録者

市町	深 谷 市								熊谷	寄居	合計
	本田	畠山	田中	長在	瀬山	上原	人見	永田			
男性	3	6	2	0	0	1	0	0	0	0	12
女性	23	15	2	5	1	2	1	1	2	3	55
合計	26	21	4	5	1	3	1	1	2	3	67

清風苑在宅介護支援センター（居宅介護支援事業者）
深谷市在宅介護支援センター清風苑（在宅介護支援センター）

1．総評

利用者の話に耳を傾けご家族と調整をしながら利用者支援に取り組んでいますが、利用者の希望よりもご家族の要望が強くなっている傾向が挙げられます。在宅支援ではデイサービスのニーズが増えているが、状態が重度化することで入所サービスへの調整に苦慮することが多く見られます。また、支援者として利用者のニーズに即した必要なケアに対しご家族の理解を得ることの難しさをも痛感し、利用者が住み慣れた環境で生活を続けていくためには、ご家族の協力は必要不可欠であり、理解を得るための支援を考えることは今後も課題となっています。そして、介護支援専門員は「利用者の代弁者」となり、サービス提供事業所と多職種協働で利用者の希望を尊重していく支援の強化も必要であると実感しています。このような現状をあげたのは、一年を通し各々の職員が業務目標の遂行を努力し利用者支援をしてきたことを評価しています。

業務内容については、年間計画に沿って取り組むなかで、平成24年4月から職員体制編成、平成25年3月には1名異動により体制の変化で大きな遅れを取っていました。しかし、利用者や家族との信頼関係を構築しながら、継続して利用者支援に取り組むことができました。

専門性の向上については、外部研修に参加することや事業所内事例検討会を行うことで職員同士協力し合いながら実践に繋げてきました。

事業計画の評価として、啓発者ポスティング業務やパンフレットの配布や主治医との連携を欠かさずに行えたことだと思います。平成25年度は介護教室の開催を実現し、利用者家族の身体的な介護の負担を軽減する目的で開催しましたが、参加者からは継続して開催して欲しいとの評価をいただき、地域との関わりに力を注ぐことができるようになりました。引き続き毎年の開催を積み重ねていきたいと考えています。地域の民生委員や民生委員会長との関わりが取れたことも実績としてあげられます。

地域に根ざす事業所として、地域包括支援センターや民生委員との関わりを強め、地域住民に安心して任せて貰えるよう事業所運営が必要だと考えております。今年度は各職員の気づきを重視して、さらにレベルアップが図れるようにして努力していきます。

2．業務目標・各会議・委員会報告

(1) 業務目標

『地域社会に根ざした利用者支援を実践する』

高齢者の尊厳を守り「その人らしい生活」の実現に向けた支援。要支援・要介護状態となった場合でも地域の中で暮らし続けるために、家族や地域・各種サービス提供者と連携できるよう取り組みました。各事業所や家族・医療機関との連携は必要に応じて足を運びサービスの調整等を行いました。高齢者の尊厳を守る点については、各事業所の条件等を優先してしまい、個々の生活スタイルをサービス利用する条件として抑えてしまう部分も見られ同様の課題を来年度も継続して行う必要があります。

介護するご家族も社会情勢の変化とともに、核家族や単身で生活している方が増えており、仕事や子育てしながらの生活や介護者自身が高齢化している中、在宅介護を継続していく限界もみられています。このような中、ご家族との相談～説明において、介護保険サービスや保険外サービスとの組み合わせ等、制度についても複雑であり、それを説明し理解していただくまでには大変時間がかかることも少なくはありません。説明不足や理解できていなかったことで、ご家族へ不信感を抱かせてしまう原因にもなる事があります。介護支援専門員として多種多様なニーズに答えるためにも地域にあるサービスを熟知するほか、制度の説明や介護保険だけでは全てのニーズに答えることが難しい事など、それぞれのご家族に理解していただけるよう家族状況に合わせた相談方法や説明方法を工夫し、お互いの信頼関係を深め、安心して在宅生活を送れるよう来年度も継続して取り組んでいきます。

困難事例について、独居の方や認知症利用者の緊急対応をすることが多く発生しました。突発的に起こる緊急事態に対し、利用者の安全を第一に考え判断できる支援を目指しました。介護支援専門員として、家族の状況把握や必要とされるサービス事業所との連携を早急に進めなければなりません。緊急性が高まることにより介護支援専門員の視野も狭くなりサービス調整が滞ってしまう危険性も感じました。このような事態に陥らないよう今後も処遇困難事例については、事業所内で事例検討会を定期的開催し、職員間での報告・連絡・相談をスムーズに行い、緊急時等においても視野を広く、落ち着いてご家族対応ができるように個々のレベルアップと共に事業所内の連携強化にも努めていきます。

民生委員、地域包括支援センターとの関わりを継続し、在宅で安心して過ごせるような支援体制の強化を行いました。民生委員等との関係を保つことにより、前民生委員から地域で介護が必要な方の情報が民生委員を満了した後も、情報を戴ける関係が継続しており、早期発見・早期対応に役立っており、今後も各関係各所の方との関係強化に取り組んでいきます。

パンフレットの配置やポスティング、介護教室を中心とした地域福祉業務についても、毎年の恒例業務であります。時代の変化と共に隣人同士が気になる存在ではなくなっているため、情報となるものが目のつきやすい所にあることで、地道な活動ではありますが、これにより毎年数件の相談も上がっています。また、介護教室は在宅介護を実施している方やそれを希望している方々への側面からの支援として地域への発信の場となり、地域住民との関係づくりの場にもなりました。在宅介護支援センターとしても地域住民と深く繋がりを持ち、敷居の低い環境を作り気軽に相談していただける、環境と関係を今後も構築していきます。

定例会議、内部研修の強化、外部研修への参加の継続をおこないました。これにより、各職員のレベルアップ～事業所のレベルアップにつながりました。今後も質の向上につながるよう、各会議・各研修へ積極的に参加していきます。

(2) 各会議

支援センター会議

会議開催することで周知した運営を継続することができました。課題としては自主性に欠ける場面も見られたため、来年度は職員の気付きを重視していきます。

主治医との会議

月に一度、医師との会議により、利用者情報の共有や医療的な勉強会を行うことで個々の状態を把握する機会になり、各事業所へより細かな医療情報の提供が行えることができました。家庭状況が主な情報源とは違い、医療情報の充実が介護サービス提供事業所にとっても、よりの確な介護サービス提供につながりました。今後も継続していきます。

事業所内事例検討会

事例を見つめ直すことや他の職員からの助言を受けることで、支援の幅を広げる良い機会になりました。課題としては職員が検討会を開催する意味を周知していないことや、現状のままで良いと決めている要素もあったため、各職員が向上心を持ち検討会の意味を十分理解した検討を行えるようにし、各職員のレベルアップやお互いにアドバイス・フォローできるような関係づくりになるよう努め継続していきます。

在宅事業所会議

月に一度、ショートステイ、デイサービス職員の協力により幸寿会内サービスの連携を図る良い時間になっていましたが、同様の効果は日常的に連絡を取り合う事で可能と考え、月に1度の会議でなく、随時連絡を行うことが、早期対応につながるため定期会議を12月に終了し、随時の連絡で確認検討を行う事としました。

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

25. 4.16 深谷市南介護支援専門員交流会

(大里広域地域包括支援センターふじさわ苑:)

5.21 深谷市介護支援専門員連絡協議会()

5.30 主催集団指導(県福祉監査課:)

- 6.12 熊谷市介護支援専門員連絡協議会 ()
- 6.13 公開講座「施設でできるリハビリ」(小川赤十字病院: 、 、)
- 6.14 福井小紀子先生特別講演会(エフビー介護サービス株: 、)
- 6.19 介護支援専門員初任者研修(大里広域地域包括支援センター:)
- 7. 3 公開講座「糖尿病について」(小川赤十字病院: 、)
- 7.16 深谷市介護支援専門員連絡協議会 (、 、)
- 7.19 福祉サービス苦情解決セミナー(県社協:)
- 8.2、8.8、8.9、8.18、9.3 平成25年介護支援専門員専門研修 (県社協:)
- 8.17、8.22、9.6、9.13、9.14 平成25年介護支援専門員専門研修 (県社協:)
- 9. 3 第24回埼玉北部認知症懇話会多職種による見える事例検討会体験講座()
- 9.17 深谷市介護支援専門員連絡協議会 (、 、)
- 9.26 6.13 公開講座「認知症について」(小川赤十字病院: 、)
- 10.23 精神保健福祉相談研修(熊谷保健所:)
- 10.30 平成25年度介護支援専門員ステップアップ研修(県社協:)
- 11.19 深谷市介護支援専門員連絡協議会 (、 、)
- 11.20 第4回介護予防ケアマネジメント研修(県高齢介護課:)
- 11.21、11.27 平成25年介護支援専門員専門研修 (県社協:)
- 11.22 認定調査員現任研修(県高齢介護課: 、)
- 12.11 深谷市南介護支援専門員交流会
(大里広域地域包括支援センターふじさわ苑: 、 、 、)
- 26. 1.16 認定調査員現任研修(県高齢介護課: 、)
- 1.21 深谷市介護支援専門員連絡協議会 (、 、 、)
- 3.18 深谷市介護支援専門員連絡協議会 (、 、 、)

4. 業務報告

(1) 家族介護教室

日 時 平成25年7月3日(水)14時から16時

開催場所 清風苑在宅介護支援センター

参加人数 13名(利用者家族10名、地域包括支援センターふじさわ苑職員3名)

第1部「やさしい介護講座」

講師 デイリハセンターうちりハ深谷 所長 理学療法士 真下 和貴 氏

第2部「なるほど福祉用具」

講師(株)栗原医療器械店 熊谷営業所 福祉用具専門相談員 阿久戸 宏幸 氏

各家庭を訪問しているなかで、毎日の介護生活の負担と感じられている部分を少しでも軽減できればということで今回のプログラムを作りました。体位変換や移乗介助等の介護技術のポイントの説明や特殊寝台や車いすをはじめとした福祉用具の上手な使い方等説明実践させていただきました。準備不足で時間が延長になったり一部参加者には実践時間が不足したりと反省点もありますが、終了時アンケートよりいただきました今後のご希望テーマと感謝の言葉はとて有難く感じました。今後も利用者家族への情報発信と交流の場のひとつとして開催が続けられるように努力します。

(2) ポスティング

これまでに介護相談を受け付けた方を中心に近隣の介護サービスが必要と思われるご家庭を訪問させていただきました。介護サービス利用という意味ではなく介護に関する相談全般に対しての相談窓口の存在を知っていただけますよう、パンフレットの設置とあわせて今後も継続していきます。

5. 利用者状況

(1) 相談・新規居宅依頼・終了者の状況

(入院者は除く)

月	相談件数	新規居宅依頼総数	居宅終了者
4月	4件	3件(男性1名・女性2名)	3名
5月	11件	3件(男性1名・女性2名)	3名
6月	2件	0件(男性0名・女性0名)	2名
7月	10件	5件(男性3名・女性2名)	1名
8月	4件	3件(男性1名・女性2名)	3名
9月	4件	2件(男性1名・女性1名)	0名
10月	7件	4件(男性1名・女性3名)	2名
11月	8件	9件(男性4名・女性5名)	1名
12月	2件	2件(男性1名・女性1名)	2名
1月	3件	4件(男性1名・女性3名)	1名
2月	3件	3件(男性1名・女性2名)	1名
3月	8件	2件(男性1名・女性1名)	0名

平成26年3月31日現在

(2) 年間居宅請求数

(月遅れ請求者も含む)

	介護給付	予防給付	認定調査
4月	83件	21件	11件
5月	84件	19件	11件
6月	86件	18件	16件
7月	85件	18件	11件
8月	82件	16件	15件
9月	87件	16件	16件
10月	85件	19件	6件
11月	83件	19件	11件
12月	81件	19件	14件
1月	84件	19件	13件
2月	84件	20件	10件
3月	85件	23件	15件
合計	1,009件	227件	149件

平成26年3月31日現在

(3) 利用者年齢別状況

区分	2号被保険者		1号被保険者								合計
	60歳未満	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	
男性	1	1	1	2	6	10	9	5	3	0	38
女性	1	0	0	1	8	17	20	15	5	1	68
合計	2	1	1	3	14	27	29	20	8	1	106

平成26年3月31日現在

(4) 月別・介護度別利用者数(暫定利用者含む)

月区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
支1	8	6	6	6	5	4	4	5	5	5	8	7	69
支2	13	13	13	12	11	12	13	13	12	13	10	11	146
介1	28	28	29	28	29	30	29	29	28	28	29	30	345
介2	28	26	26	29	29	27	27	28	28	28	27	28	331
介3	12	12	14	15	11	13	16	16	15	15	14	13	166
介4	9	11	9	6	6	12	8	9	7	9	10	10	106
介5	6	7	7	7	8	5	5	5	4	4	4	4	66
合計	104	103	104	103	99	103	102	105	99	102	102	103	1,229

(5) 介護度別・サービス種別利用者数(一部重複者あり)

区分	訪問介護	訪問看護	訪問入浴	訪問リハ	通所介護	通所リハ	短期介護	短期療養	福祉用具	合計
支1	2	1	0	0	7	0	0	0	1	11
支2	0	1	0	0	8	0	0	0	6	15
介1	4	2	1	0	22	8	1	0	10	48
介2	2	3	1	0	20	4	2	0	16	48
介3	1	1	0	0	10	2	5	0	6	25
介4	2	0	0	0	8	0	1	0	8	19
介5	2	1	1	0	1	0	1	0	8	14
合計	13	9	3	0	76	14	10	0	55	180

平成26年3月31日現在

グループホームすずかけ (介護予防)認知症対応型共同生活介護)

1. 総評

グループホームすずかけは、26年度で9年目を迎えます。認知症の方が家庭的な雰囲気の中で共同生活をし、個々に合った自立した生活を送る事ができるよう支援を行ってきました。生活していく中での衛生面は確立し向上が出来ました。しかし、利用者様が生きがいや、楽しみを継続した生活が出来たのかと考え、季節によっては出来てない日も多くあったように思いました。また、接遇についても、会議の中に取り上げてきましたが、こらからも課題として取り組み、利用者の方に安心して生活して頂けるよう職員全員のレベルアップを目指します。近隣にも多くの高齢者施設が出来ている為、平成26年度は、1日1日を満足して頂ける様な施設作りに取り組んでいきたいと思っています。

2. 業務目標・各会議・委員会報告

(1) 業務目標報告

ケース会議の実施

モニタリング表を活用したケアプランを評価してケアプランの見直し(1プランは3ヶ月に1回の頻度)を行いました。また、各ケースを毎月の定例会議にて確認し、その都度に応じた統一された介護サービスが提供できるようになってきています。

記録をしっかりとつける

個人記録の書式をご家族が読んで、利用者がどのような生活を送っているのかが見える。そして、次に繋げる支援が出来る記録作りに改善してきました。

身体的支援・精神的支援

ケアプランを活用して統一した支援となるようすすめてきましたが、課題となる部分が多々ありました。平成26年はケアプランを活用しさらに統一した支援をすすめていきます。また認知症の理解と対応は、職員間の声かけ等によって大きく影響される事に注意し、決して私達が指導者にならないような支援をすすめます。

事故をなくす

毎月の定例会議で事故報告書、ヒヤリハットの振り返りをして事故防止に努めましたが、平成25年に3件の骨折事故を発生してしまいました。生活する上でのリスクを家族に説明理解していただきながら、再発防止策を周知して重大な事故防止に役立てていきます。

地域とのかかわり

平成25年度も引き続き保育園、小学校の行事に参加をさせて頂き、散歩途中の挨拶からの会話など子供たちとの交流の場を設けました。地域清掃活動行事の参加は職員の勤務を合わせ参加する事ができました。近隣の方々に「すずかけ新聞」の配布を継続して情報発信を行って来ています。その事により、季節の野菜、花などを頂く機会が多くなり、地域の皆様の認知度合いも増えてきていると実感しております。

グループホーム内役割分担

役割分担をすることで業務内容が明確になり、各担当の責任感が生まれ、踏み込んだ業務にあたる事ができ、出来ていない所を助け合いながら業務を遂行していく事が出来ました。

(2) 各会議報告

グループホーム会議

毎月1回の実施をし、各会議と委員会の報告検討とケースの確認を行ってきました。変則勤務の中で一堂に会す機会としての意識統一と意見交換の場としてはとても有効でした。しかし、会議資料配布が当日になったりケース確認については進行がうまくいかず、長時間になることも多々ありました。今後は効率と効果のある会議とするために、資料の事前配布を徹底して各職員が意見をまとめて臨める環境を作り内容の濃い会議をめざします。

運営推進会議

平成25年度は基準どおりに年6回の開催を行事の参加にあわせて実施する事ができました。開催日は行事の日や家族の参加を重視した為、行政の参加は少なくなってしまいましたが今まで以上に活動を知っていただけるようになりました。(年間行事参照)

安全対策委員会

利用者の環境面の危険箇所について、事故報告とヒヤリハットの書式の見直しをおこなってきました。研修に参加して事故発生の原因検証も出来てきていると思われま

(3) 各委員会報告

衛生管理生活向上委員会

衛生管理については、維持改善をしながら行なってきました。生活向上では、散歩をはじめ外出など計画通りには進まなかった為、今後の課題にしていきたいと思っています。

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

25. 7. 4 介護職員研修口(県老協協:)
- 7.19 平成25年度福祉サービス苦情解決セミナー
(県社協・埼玉県運営適正化委員会:)
- 7.23 摂食・嚥下リハビリテーション初級研修(県社協:)
- 7.23~24 認知症対応型サービス事業管理者研修(さいたま市・埼玉県:)
- 8.30 認知症介護基礎研修(県社協:)
- 9.24 平成25年度福祉サービス苦情解決セミナー
(県社協・埼玉県運営適正化委員会:)
- 9.26 公開講座「認知症について」(小川赤十字病院: 、)
- 9.26、10.2 平成25年度接遇推進者養成研修(県社協:)
12. 2 「今、困っていること、心配なことはなんですか。現場の本当を教えてください。」
(県認知症グループホーム・小規模多機能協議会: 、)
12. 4 第8回グループホーム探検隊と先進的な事例を聞く会・「とよ屋で地域と繋がる」
~明日やりたい事のある毎日~
(公益社団法人日本認知症グループホーム協会埼玉県支部事務局: 、)
- 12.13 危機管理に関する研修(県社協:)
26. 2.12 高齢者虐待セミナー(県高齢介護課:)
- 2.12 バスリフトの取り扱いについて(施設内研修: 参加者5名)
- 2.24 福祉用具の適正活用と腰痛予防のための研修(施設内研修: 参加者8名)

4. 研修・実習者受け入れ

実習期間	研修・実習者	人数	延日数
平成25年7月16,17日	かな福祉専門学校	1	2
26年2月11,12日	かな福祉専門学校	1	2
2月13日	老人福祉施設 うらら	1	1
合計		3	5

5 . ボランティア受入

月	団体		個人		合計		活動団体	敬称略
	延件数	延人数	延件数	延人数	延件数	延人数		
4	1	5	0	0	1	5	【深谷市】 コーラスさくらそう、 いなほ会 川本南小学校 田中北カラオケの会 <個人> 【深谷市】 様、 様	
5	0	0	0	0	0	0		
6	0	0	0	0	0	0		
7	0	0	0	0	0	0		
8	0	0	3	3	3	3		
9	0	0	0	0	0	0		
10	0	0	0	0	0	0		
11	0	0	0	0	0	0		
12	3	26	0	0	3	26		
1	0	0	0	0	0	0		
2	0	0	0	0	0	0		
3	0	0	3	3	3	3		
計	4	31	6	6	10	37		

6. 年間行事 ()は参加者数

月	内 容
4	4/6 お花見(22) 4/19 外出、悪天候で外食無し(14) 4/6 第20回運営推進会議(13)
5	5/16 農林公園外出、弁当持参(13)
6	6/10 食事外出(5)・12,13日の計画もあったが雨の為中止 6/28 総合防災訓練 6/29 第21回運営推進会議(10)
7	7/7 まんじゅう作り(12) 7/19 流しそうめん(13)
8	8/16 花火大会(13)
9	9/7 長寿会(15)・第22回運営推進会議(10) 9/19 十五夜
10	10/17 十三夜 10/31 運動会(15)
11	11/15 日帰り旅行・東秩父和紙の里(15) 11/2 第23回運営推進会議
12	12/21 夜間通報訓練 12/14 忘年会(27)・第24回運営推進会議(9) 12/19 クリスマス会(13)
1	初詣、坂上神社(5)
2	2/3 節分(12)・南保育園園児参加
3	蕁狩り・大雪の災害があり中止 3/1 第25回運営推進会議(7)
毎月	誕生会

7. 業務報告

月	内 容
4	衛生管理生活向上委員会、4/15 出張美容 4/16 床ワックス 4/28 老健、居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話
5	5/2 グループホーム会議（4月分） 5/9 衛生管理生活向上委員会 5/13 安全対策委員会、5/16 消防設備点検 5/28 グループホーム会議
6	6/10 安全対策委員会、6/13 衛生管理生活向上委員会 6/17 出張美容、6/21 利用者健康診断 6/23 グループホーム会議
7	7/8 安全対策委員会 7/11 衛生管理生活向上委員会 7/23 グループホーム会議
8	8/5 安全対策委員会、8/6 出張美容 8/8 衛生管理生活向上委員会、8/19 居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話 8/21 床ワックス、8/27 グループホーム会議
9	9/9 安全対策委員会 9/12 衛生管理生活向上委員会 9/24 グループホーム会議
10	10/10 衛生管理生活向上委員会、10/14 安全対策委員会（中止） 10/21 出張美容、10/21 居宅介護支援事業所入居者紹介依頼の電話 10/22 グループホーム会議
11	11/5 衛生管理生活向上委員会、11/6 消防設備点検 11/11 安全対策委員会、11/26 グループホーム会議 11/29 床ワックス全箇所
12	12/9 安全対策委員会、12/12 衛生管理生活向上委員会 12/16 出張美容 12/17 グループホーム会議
1	1/9 衛生管理生活向上委員会 1/13 安全対策委員会 1/27 グループホーム会議（中止）
2	2/12 安全対策委員会（中止） 2/13 衛生管理生活向上委員会 2/24 グループホーム会議
3	3/1 防災訓練、3/4 出張美容 3/10 安全対策委員会、3/17 衛生管理生活向上委員会 3/24 グループホーム会議
備 考	毎月宅介護支援事業所、老健事業所、病院 38 ヶ所入居者空床、待機情報案内書、 すずかけ新聞郵送、 毎月郵送を行なう計画であったが職員都合により 2~3 ヶ月の郵送になってしま った。毎月郵送出来るよう努力して行きたい。

8. 利用者状況 <平成25年度に関する以外は平成26年4月1日現在にて表示>

(1) 利用者定員及び現在員状況

定員9名 現在員9名(男性3名 女性6名)

(2) 利用者年齢別状況

年齢	60 ~64	65 ~69	70 ~74	75 ~79	80 ~84	85 ~89	90 ~94	95 ~99	100 ~104	計
男性	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
女性	0	0	0	1	0	3	0	2	0	6
計	0	0	0	2	1	4	0	2	0	9

*最高年齢 女性98歳5ヶ月

*最若年齢 男性75歳6ヶ月

*平均年齢 86歳3ヶ月

(3) 入所申込状況(入所検討委員会)

年月	件数	年月	件数
平成25年4月	0	10月	1
5月	2	11月	0
6月	0	12月	1
7月	0	平成26年1月	0
8月	0	2月	0
9月	0	3月	1

(4) 利用期間

利用期間	男	女	計
3ヵ月未満	1	0	1
6ヵ月未満	0	0	0
1年未満	0	2	2
2年未満	0	2	2
2年以上	2	2	4
計	3	6	9

(5) 月別利用者状況

年間利用率96.2%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
区分													
月初日利用者数 (在籍)A	9	9	8	8	9	9	9	8	9	9	9	8	
月中新利用者数B	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	4
月中退所者数C	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	4
月中入院者数D	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	
月末入院者数E	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
月末日利用者数 (実数)F=A+B-C	9	8	8	9	9	8	7	9	9	9	8	9	
延べ利用者数	270	264	260	272	279	266	231	264	279	279	238	259	3,161

(6) 市町村別入退所者状況

市町村	平成 26 年 4 月 1 日現在			平成 25 年度			入院・入所・退所状況
	男	女	計	入院 延数	入所 者数	退所 者数	
旧川本町	1	2	3	33	3	3	(退) 5/25 (退) 6/27 (退) H26.2/15 (入) 6/1 (入) 7/8 (入) 11/2 (入) H26.3/21
旧深谷市	0	0	0	0	0	0	
旧花園町	1	1	2	22	0	1	(退) 10/18
旧江南町	0	2	2	0	1	0	
寄居町	1	1	2	0	0	0	
計	3	6	9	55	4	4	

(7) 利用者の心身状況

日常生活動作

介助項目区分	自立	一部介助	全介助
移動介助	4	4	1
食事介助	9	0	0
排泄介助	2	6	1
入浴介助	3	5	1
着替え介助	3	5	1
体位交換介助	7	2	0

心身状況

認知症老人の 日常生活自立度	自立			a	b		a	b		M
	0	0	1	1	3	0	3	1	0	0

(8) 要介護度

* 平均介護度 2.7

要介護区分	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
男性	0	1	2	0	0	0	3
女性	0	0	1	3	1	1	6
計	0	1	3	3	1	1	9

事 務

1. 総評

基幹的業務である法人事務、財務会計処理、職員給与計算、職員福利厚生や介護保険制度改正等の手続きを柱に取り組みを行ないました。具体的には前段の庶務事項や以下の事務処理となっています。今後も会計処理を迅速かつ正確に示すと共に事務部門の効率化と各事業所の円滑な事業運営に貢献してまいります。

また、事務職員体制の変更により業務分担の調整を行いました。

2. 業務目標

平成 26 年度に会計処理方法を指導指針から新会計基準へ移行する準備については、研修等にて制度の確認をし、会計システム移行を完了しました。

事業継続計画(BCP)については、清風苑の事業継続計画を清風苑部門と協力をしながら作成しました。

3. 研修・会議の参加状況(参加日・研修会議名(主催:参加者))

- 25. 4.16 施設長会議(県老施協:)
- 5.29 安全運転管理者講習(県安全運転管理者協会:)
- 6.10 定期総会・セミナー(県経営協:)
- 6.18 社会保険算定基礎説明会(熊谷年金事務所:)
- 7. 8 介護事務経営セミナー(埼玉県:)
- 8.27、10.1、11.11 事業継続計画(BCP)作成研修会(県経営協: 、)
- 8.26 社会福祉法人監査研修(県社協:)
- 9. 2、9.10 社会福祉施設社協運営管理職員研修(県老施協:)
- 9.18 財務管理研修(県社協:)
- 9.18 大震災に備える福祉施設の改修・建替えと融資(福祉新聞社:)
- 9.24 社会貢献活動に関するセミナー(県老施協・県経営協:)
- 9.26 社会福祉法人監査研修(県社協・県経営協:)
- 10.18 事務員研修(県老施協:)
- 11. 6 年金委員研修会(日本年金機構熊谷年金事務所:)
- 11. 7 社会福祉法人役員管理者研修～新会計基準の理解(県経営協:)
- 11.20 年末調整説明会(熊谷税務署:)
- 26. 1.20 支部会(県老施協大里支部会:)
- 1.21 第2回社会貢献活動に関するセミナー(県老施協・県経営協:)
- 1.22 管理者研修(埼玉県:)
- 1.28 第2回施設長会議(県老施協:)
- 2. 7 新会計基準対応版財務会計システム「新会計基準移行編」(CIJ 東京本社:)
- 2.13 社会福祉施設災害時対応研修(県社協:)

